

CASE STUDY

8

社会福祉法人敬寿記念会 ふれあいの郷もくせい様

デイケアセンター併設の特養老人ホーム。
二つの施設を構えるホームの大人数スタッフ連携に

1991年より兵庫の地で85床の特別養護老人ホームと併設で
デイケアサービスを構えるふれあいの郷もくせい様。

約100人となるスタッフ同士の連携にインカムを導入

2年前までは100名前後となるスタッフ同士の連携にPHSを利用して
いましたが、回線の都合上これ以上PHSが増やせず別の通信手段を検討し
ていた際に、Wi-Fiインカムの存在を知り導入を検討。1週間のお試し後
にはスタッフ全員が首を揃えて「便利だから導入したい」と頷いたそう
です。



法人名：社会福祉法人敬寿記念会
施設名：ふれあいの郷もくせい
施設概要 種別：特養 他
床数：特養85、短期10、ショートステイ20
何階建て：特養2階建て、他1階
職員数：約100名
インカム使用期間：2年
インカム導入台数：45台

導入により得られた効果

- 人・モノ探しや申し送りなどの情報共有効率が飛躍的に上がった。
- 軽くて頑丈なクリアトークカムはPHS・スマホより現場に好評

● 介護デバイスの敵は、水場と破損と
充電切れ。インカムをスマホで使うサ
ービスも選択肢にありましたが、スマ
ホは水と衝撃にすごく弱く、バッテリ
ー保ちも短い。その点ハンズフリーで
使えて本体も頑丈なクリアトークカム
は職員さんに満足頂けたようです。

人数の少ない職場だからこそ、業務会話の同時共有が作業分担やコミュニケーションの風通しに貢献。 インカムは困っている側がSOSを出しやすく、余裕のある側が手を差し伸べやすくするツール

とにかく移動や情報伝達の労力が減りました。
多人数同時通話インカムは「皆で会話を共有できて、個別のやり
とりができないからこそ」介護の現場に最適だと感じます。
例えば、導入前はスタッフ間の仕事分担について、勤務人数が
少ない事もあり各人の作業スケジュールをパズルのように組み
合わせて動いて貰っていました。ですが、縦割りを事前に決め
て動けば動くほど、突発的な欠員が出た場合などのスケジュー
ルのズレに対応し辛くなる弊害も生じます。

インカム導入後は、その場で全員と連絡をとりながら相互に仕
事をカバーできるようになりました。事前に縦割りで作業分担
を決めていた時よりも柔軟に動けるため、職員達に余裕が生ま
れるようになりました。

また、インカム導入前までの人探しでは、相手が居そうな場所
を捜索しても捕まらないなど職員へ徒らに労力を使わせがちで
した。ですがインカムなら一斉通話を人探しの呼びかけに使え
ば、館内中の職員から会話感覚で「先程玄関で見かけました」

「側に居るので声かけますね」などのフィードバックが即座に
集まります。これだけの職員を動かすことを考えると、そんな
に高い買い物ではないと感じました。特に施設へのWi-Fi敷設は
今後、インカムだけではなく他の用途にも使えますので、と
「もくせい」事務長の荻野氏。

単なる業務指示や申し送り、スケジュール調整だけの用途では
なく、職員が切羽詰まっていな、抱え込んでいる仕事や悩
みなどが無い、誰かに仕事が一極集中していないか…そうい
った滞りの早期発見にも役立つ、との事。

「もくせい」では各職員の持ち仕事や毎日行うルーチンワーク
などの情報について、グループトークで毎日1度は他の職
員の耳に入れるよう、情報共有機会を設けているという。

「インカムの効力は移動の労力の省力化や時間ロスのカットそ
のものより、職員の精神的な負担やコミュニケーションにかか
る心理的なハードルを低くする効果のほうが実は大きいんです
ね。困りごとが発生してもすぐ仲間内で気付きが得られますし
臨機応変に対応できるようになりましたから」。